



Vol. 6

# Kinder 音楽グルメの会 研修レポート

午前の部 『リズム遊びは楽しい!』

久保 修三 (当会代表)

午後の部 『楽しい音楽鑑賞の指導法』

栗飯原喜男先生 (音楽の授業を作る会代表)



2020年2月1日(土)、大阪国際交流センターにて「Kinder 音楽グルメの会 MUSIC WINTER SEMINAR2020」を開催いたしました。

今回は子どもたちの想像力を豊かにし、聞く力を育てるために2つの研修を企画いたしました。午前の部は当会代表 久保 修三によるカスタネット・タンブリン・すすを使ったリズム遊び、午後の部は小学校低学年 音楽鑑賞授業で経験豊富な栗飯原喜男先生(音楽の授業を作る会代表)をお招きして、幼稚園・保育園の子どもたちのための楽しいクラシック音楽の聴き方、聴かせ方をご紹介いただきました。リズム遊びから音楽鑑賞につながる研修内容をレポートします!



『リズム遊びは楽しい!』(講師:久保)では、子どもたちが先生のお話をしっかりと聞くための正しい座り方についての確認からはじまり、楽器の名前や持ち方、鳴らし方について、研修をしました。実技では“音楽のもと”である拍の感じ方を、まねっこ遊びを通して体験。音楽に合わせてカスタネットなどをタン・タン・タンとたたいたり、拍にのって動物の鳴きまねをしてみたり、楽しみながら音楽への興味や関心を引き出す研修内容でした。

『楽しい音楽鑑賞の指導法』(講師:栗飯原先生)では、様々な音楽のジャンルがある中でクラシックは楽譜や字が読めなくても、子どもたちが多くの感動を味わうことが出来る音楽であることを研修内で体感しました。午前の部の「拍の感じ方」を取り入れながら、クラシック音楽で拍を感じる曲として「ラデツキー行進曲」を聞きながら拍に合わせて手拍子を打ち、「シンコペーテッド・クロック」ではカチカチ(時計の針の音)のリズムに合わせて人差し指を動かす体を使った音楽鑑賞を行いました。また豊かな感受を育むためのクラシック音楽として「踊る子猫」曲中のヴァイオリン奏法で子猫の鳴いた声の回数や別の楽器で表現した動物の鳴き声を感じたり、メロディをうらうで歌ったりしました。受講者の先生方全員で拍や音の強弱、楽器の音色を見つける、音を空気で感じ取る研修内容でした。

2つの講座ともに、発達段階にあわせた教材、そして先生方が子どもたちひとりひとりに目を配ることができる並び方などもご紹介し、異なる保育環境に適した教育機器やオーディオ装置のご提案もいたしました。



※2020年夏期音楽教育講座「MUSIC SUMMER SEMINAR2020」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止いたしました。「Kinder 音楽グルメの会」は、幼稚園・保育士の先生方を対象にした教育講座を開催してきました。

ホームページには過去の研修レポートを掲載しております。 <音楽グルメの会 >